

科目名	社会科学講義基礎(政治・社会)					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	30時間/60時間	担当者	田中 純一	
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科 1年生					
授業概要	政治分野及び社会分野における公務員試験の一次試験(筆記試験)で頻出の知識を習得することを学習目標に授業を行い、幅広い教養を身につける。講義・問題演習を通して、公務員試験における該当分野の得点率を上げることができるようにする。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	
	○	○			政治の要点を学び、公務員試験における標準レベルの問題について解けるようになる。	
	○	○			社会の要点を学び、公務員試験における標準レベルの問題について解けるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	公務員試験 過去問徹底分析 “絶対”合格シリーズ 社会科学 テキスト編(2020年 麻生キャリアサポート編 著)					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	三権分立			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	2	国会①:二院制・国会の種類			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	3	国会②:国会の権限・各議院の権限・国会議員の特権			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	4	国会③:衆議院の優越			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	5	内閣			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	6	裁判所①:裁判所の役割と組織・裁判の種類・裁判の公開			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	7	復習①(三権分立・国会・内閣・裁判所)			【事後】授業で配布したプリントで復習をすること。	
	8	裁判所②:司法権の独立・違憲立法審査権・裁判員制度			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	9	日本国憲法①:日本国憲法と大日本帝国憲法の比較			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	10	日本国憲法②:日本国憲法の三大原則			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	11	地方自治①:地方自治の本旨・地方自治の組織			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	12	地方自治②:直接請求権・地方自治の問題点			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	13	選挙制度①:選挙権の拡大・選挙制度の特色・公職選挙法			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	14	選挙制度②:政党・政治改革・圧力団体			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	15	復習②(裁判所・日本国憲法・地方自治・選挙制度)			【事後】授業で配布したプリントで復習をすること。	
	16	民主主義の発展			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	17	各国の政治制度①:イギリスの政治制度			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	18	各国の政治制度②:アメリカの政治制度			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	19	基本的人権の尊重①:自由権			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	20	基本的人権の尊重②:社会権			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	21	基本的人権の尊重③:参政権・請求権・新しい人権			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	22	復習③(民主主義の発展・各国の政治制度・基本的人権)			【事後】授業で配布したプリントで復習をすること。	
	23	国際政治と日本:国際法・国際連盟と国際連合			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	24	社会保障			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	25	少子高齢化・情報化			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	26	労働事情			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	27	環境問題			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	28	消費者問題・農業問題			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	29	時事対策			【事後】授業で配布したプリントで復習をすること。	
	30	復習④(国際政治と日本・社会分野)			【事後】授業で配布したプリントで復習をすること。	
評価方法	定期試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	◎	◎			
履修上の注意						

科目名	社会科学講義基礎(経済)								
科目名(英)	Politics and Economics (Economics)								
単位数	4単位	時間数	30時間/60時間	担当者	本多 利幸				
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験					
対象学科・学年	公務員総合科 1年								
授業概要	初級程度(高卒程度)公務員採用第一次試験において出題される社会科学分野(経済)を学習する。毎週実施する演習試験、前期・後期それぞれで実施する中間、期末テストを通して、経済の知識の定着を図り、試験に対応出来る力を身につける。								
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:	<input type="checkbox"/>	実習:	<input type="checkbox"/>	実技:	<input type="checkbox"/>	※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="checkbox"/>
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標			
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				「経済」分野の学習内容を理解し、公務員試験の問題に正答を出せるようになる。			
テキスト・教材 参考図書	麻生キャリアサポート編集：絶対合格シリーズ 社会科学 テキスト編								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
		◆経済分野							
	1	経済授業開始にあたってのガイダンス 市場と価格に関する講義 P.68-69				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	2	市場と価格に関する講義 P.70-71				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	3	市場と価格に関する講義 P.72-73				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	4	企業のしくみに関する講義 P.75-76				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	5	景気と物価に関する講義 P.78-79				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	6	景気と物価に関する講義 P.79-80				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	7	これまでの復習				【事後】復習プリントを解きなおす			
	8	金融に関する講義 P.82-83				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	9	日本銀行の金融政策に関する講義 P.83-84				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	10	財政政策に関する講義 P.86-87				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	11	財政政策に関する講義 P.88-89				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	12	為替レートに関する講義 P.91-92				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	13	為替レートに関する講義 P.91-92				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	14	これまでの復習				【事後】復習プリントを解きなおす			
	15	前期本試験プレテストを実施				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	16	国際経済に関する講義 P.94-95				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	17	国際経済に関する講義 P.96-97				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	18	国民所得と経済成長に関する講義 P.99-100				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	19	国民所得と経済成長に関する講義 P.101-102				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	20	現代日本経済の構造と課題に関する講義 P.103-104				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	21	現代日本経済の構造と課題に関する講義 P.105、107				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	22	これまでの復習				【事後】復習プリントを解きなおす			
	23	経済学史に関する講義 P.109-110				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	24	【復習】需要・供給と市場経済(復習プリントを使用)				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	25	【復習】国民経済と国民所得(復習プリントを使用)				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	26	【復習】景気循環とインフレーション(復習プリントを使用)				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	27	【復習】財政政策と租税制度(復習プリントを使用)				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	28	【復習】日本銀行と金融政策(復習プリントを使用)				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
	29	【復習】国際経済と日本経済(復習プリントを使用)				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
30	これまでの復習				【事後】復習プリントを解きなおす				
評価方法	定期試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験	◎	◎						
	小テスト								
	宿題・レポート								
	発表・作品								
履修上の注意									

科目名	人文科学講義基礎(日本史)					
科目名(英)	Japanese History					
単位数	8単位	時間数	45時間/120時間	担当者	武内 淳	
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科 1年					
授業概要	高校日本史の中から公務員試験と関係の深い箇所を重点的に学ぶ。前期は、「古代史」から「中世史」を扱います。縄文時代から室町時代までの流れを押さえて、政治体制を中心に説明する。後期は、「近世史」から「現代史」を扱います。安土桃山時代から昭和時代までの流れを押さえて、政治体制を中心に説明する。					
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:	<input type="checkbox"/>	実習:	
					※ 主たる方法: <input type="radio"/>	その他: <input type="checkbox"/>
学習目標(到達目標)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	目標	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	律令国家から武家政権誕生までを説明できる。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鎌倉・室町時代について説明できる。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	幕藩体制と三大改革について説明ができる。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	明治維新以降の近現代史を説明できる。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	織豊政権について説明できる。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	江戸の幕政について説明できる。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	明治の近代化、戦争の歴史について説明できる。	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	戦後史について説明できる。		
テキスト・教材参考図書	『絶対合格シリーズ(人文科学・テキスト編)』 高校時代の日本史の教科書や資料集を持っている人は適宜利用してください。					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	古代(1)「縄文、弥生時代の特色」、「ヤマト政権の誕生」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	2	古代(2)「律令国家の形成へ」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	3	古代(3)「律令国家の完成」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	4	古代(4)「奈良時代」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	5	古代(5)「律令国家の衰退へー律令再建から摂関政治へー」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	6	古代(5)「律令国家の衰退へー摂関政治から院政へー」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	7	古代(6)「院政と平氏政権の誕生ー院政と平氏政権へー」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	8	文化史①(飛鳥、白鳳、天平、国風文化など)			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	9	中世(1)「源平合戦」、「鎌倉幕府の成立」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	10	中世(2)「執権政治」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	11	中世(2)「蒙古襲来とその影響、鎌倉幕府滅亡へ」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	12	中世(3)「南北朝時代」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	13	中世(3)「室町幕府の確立」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	14	中世(4)「下剋上の世の中へ」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	15	中世(4)「中世の社会経済」、文化史②(鎌倉文化、北山・東山文化)			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	16	前期の復習			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	17	近世(1)「ヨーロッパ人の到来」、「織田信長の統一事業」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	18	近世(1)「豊臣秀吉の統一事業」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	19	近世(2)「江戸時代・幕藩体制」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	20	近世(3)「江戸初期の外交」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	21	近世(3)「文治政治への転換」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	22	近世(4)「幕政改革ー享保の改革、田沼の政治へー」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	23	近世(4)「幕政改革ー寛政の改革、諸外国の接近へー」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	24	近世(5)「幕政改革ー天保の改革へー」、「近世の社会経済」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	25	近世(6)「開国の流れ」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	26	近世(6)「平等条約締結とその影響」、近世(7)「幕末の政局」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	27	近代(1)「明治維新」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	28	文化史③(桃山文化)、文化史④(江戸の文化)			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	29	近世史の小括			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	30	近代(1)「西郷隆盛中心の留守政府」、近代(2)「大久保利通の政治」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	31	近代(2)「大隈と伊藤の政治」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	32	近代(3)「松方正政と民権運動の激化」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	33	近代(3)「内閣の変遷」、「条約改正」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	34	近代(4)「内閣の変遷」、「日露戦争」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	35	文化史⑤(明治の文化)			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	36	明治の小括			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	37	近代(5)「護憲運動」、「第一次世界大戦」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	38	近代(5)「協調外交と護憲運動2」、近代(6)「恐慌対策」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	39	文化史⑥(大衆文化)			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	40	近代(6)「政党政治の終焉」、近代(7)「日中戦争」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	41	近代(7)「日米開戦」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	42	現代(1)「戦後処理と復興」、「国際社会への復帰」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	43	現代(2)「高度経済成長part 1」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
	44	現代(3)「高度経済成長part 2」			テキストの該当ページを読んでおくこと	
45	現代史の小括			テキストの該当ページを読んでおくこと		
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験		◎			
	演習試験		○			
履修上の注意						

科目名	人文科学講義基礎(世界史)					
科目名(英)	World History					
単位数	8単位	時間数	45時間/120時間	担当者	池田 詠子	
実施年度	2020年	実施時期	通年	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科 1年					
授業概要	高校世界史の中から公務員試験と関係の深い箇所を履修する。本講義では「ヨーロッパ・アメリカ史」を「古代」「中世」「近世」「近代」「現代」と時代順に進め、公務員試験に対応できるレベルの獲得を目指す。授業はおもに政治史を中心に進め、時折、文化史や社会経済史にも触れる。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	目標					
	○				古代ギリシア・ローマの政治について、中世ヨーロッパの成り立ちとローマ教会について説明できる。	
	○				ルネサンス、大航海時代、宗教改革、絶対王政の関係性について説明できる。	
	○				市民革命と帝国主義について説明できる。	
	○				2つの世界大戦と冷戦について説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編著 : 絶対合格シリーズ 人文科学 テキスト編 ・授業プリント					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	古代ギリシア			『絶対合格シリーズ(人文科学・テキスト編)』p. 46-47を読んでおくこと	
	2	ローマ共和政			同p. 48を読んでおくこと	
	3	ローマ帝政			同p. 48-49を読んでおくこと	
	4	ゲルマン民族、フランク王国			同p. 50を読んでおくこと	
	5	ビザンツ帝国			同p. 52を読んでおくこと	
	6	ノルマン人の侵攻			同p. 51を読んでおくこと	
	7	中世のローマ教皇、十字軍			同p. 52-53を読んでおくこと	
	8	英仏百年戦争			同p. 55を読んでおくこと	
	9	中世都市、封建制の崩壊			同p. 54-55を読んでおくこと	
	10	ルネサンス1			同p. 56を読んでおくこと	
	11	ルネサンス2			同p. 56を読んでおくこと	
	12	大航海時代1			同p. 56-57を読んでおくこと	
	13	大航海時代2			同p. 56-57を読んでおくこと	
	14	古代総復習			テキスト・前期ノート	
	15	中生総復習			テキスト・前期ノート	
	16	宗教改革1			同p. 58を読んでおくこと	
	17	宗教改革2			同p. 58を読んでおくこと	
	18	絶対王政1			同p. 58を読んでおくこと	
	19	絶対王政2			同p. 57-59を読んでおくこと	
	20	絶対王政3			同p. 60-61を読んでおくこと	
	21	ピューリタン革命			同p. 62を読んでおくこと	
	22	名誉革命			同p. 62-63を読んでおくこと	
	23	北米13州の成立1			同p. 64を読んでおくこと	
	24	北米13州の成立2			同p. 64を読んでおくこと	
	25	アメリカ独立戦争			同p. 64-65を読んでおくこと	
	26	フランス革命			同p. 66-67を読んでおくこと	
	27	ナポレオン戦争			同p. 68を読んでおくこと	
	28	産業革命			同p. 70を読んでおくこと	
	29	ウィーン体制			同p. 68を読んでおくこと	
	30	振り返り(16~30総復習)			テキスト・ノート持参	
	31	19世紀ヨーロッパ各国1			同p. 69-70を読んでおくこと	
	32	19世紀ヨーロッパ各国2			同p. 71-72を読んでおくこと	
	33	19世紀のロシア			同p. 72-73を読んでおくこと	
	34	19世紀の合衆国			同p. 74-75を読んでおくこと	
	35	帝国主義の世界分割			同p. 76を読んでおくこと	
	36	バルカン戦争と民族対立			同p. 76を読んでおくこと	
	37	第一次世界大戦			同p. 77を読んでおくこと	
	38	ロシア革命、ヴェルサイユ体制			同p. 78-79を読んでおくこと	
	39	トルコ革命、ワシントン体制			同p. 79-80を読んでおくこと	
	40	世界恐慌			同p. 80-81を読んでおくこと	
	41	第二次世界大戦			同p. 82-83を読んでおくこと	
	42	冷戦1			同p. 82-83を読んでおくこと	
	43	冷戦2			同p. 82-83を読んでおくこと	
	44	冷戦3			同p. 84-85を読んでおくこと	
	45	19~20世紀振り返り			テキストノート総復習	
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	◎	◎			80%
	演習試験	○	○			20%
履修上の注意						

科目名	人文科学講義基礎(地理)						
科目名(英)	geography						
単位数	8単位	時間数	30時間/120時間	担当者	馬場 秀樹		
実施年度	2020年	実施時期	通年	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科 1年						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)で、頻出単元になる「人文科学(地理)」での得点率を上げることを目標に講義を行う。世界各地の地形・気候の特徴を中心に、要点を踏まえたくて問題演習を重ねながら公務員試験(地理)の得点率向上を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○					地形・気候の特徴について説明できる。	
	○					世界各地の地域的特徴について説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編著：絶対合格シリーズ 人文科学 テキスト編 ・帝国書院：新詳高等地図(2019編) ・授業プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	【はじめに】地理の基礎知識①②			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	2	気候(1)			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	3	気候(2)			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	4	気候の続き、土壌			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	5	風・日本の気候			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	6	地形(1)			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	7	地形(2)			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	8	地形(3)			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	9	地図			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	10	世界の農牧業(1)(2)			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	11	世界の農牧業(2)、生産量・輸出入・発電			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	12	東アジア(1)(2)			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	13	東南アジア(1)			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	14	東南アジア(2)			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	15	南アジア			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	16	西アジア			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	17	アフリカ			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	18	ヨーロッパ(1)			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	19	ヨーロッパ(2)			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	20	ヨーロッパの続き			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	21	ロシア・旧ソ連諸国・中央アジア、北アメリカ			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	22	北アメリカ			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	23	南アメリカ			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	24	南アメリカ			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	25	オセアニア			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	26	人口			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	27	漁業・産業			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	28	時差			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	29	(予備時間)			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
	30	(予備時間)			2週に1度、実施される週テストに合格出来るように復習を行う。		
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	演習試験	○	○				20%
履修上の注意							

科目名	自然科学講義基礎(生物・物理)									
科目名(英)										
単位数	5単位	時間数	30時間/75時間	担当者	山端 亜弥					
実施年度	2020年	実施時期	通年	担当者実務経験						
対象学科・学年	公務員総合科 1年									
授業概要	公務員採用試験で出題される単元の内容(以下1～15にて提示)を理解できるようになる。また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで、本試験の傾向を学ぶ。									
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:	<input type="checkbox"/>	実習:		実技:		※ 主たる方法: <input type="radio"/>	その他: <input type="checkbox"/>
学習目標 (到達目標)	目標									
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自然科学分野の要点を理解し、初級程度公務員試験過去問題の解答することができる。				
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編著：絶対合格シリーズ 自然科学 テキスト編 ・オリジナル演習プリント									
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示				
	1	生体のつくり								
	2	細胞分裂・生殖								
	3	遺伝								
	4	酵素								
	5	異化(呼吸・発酵)								
	6	同化(光合成・窒素同化)1 解説1								
	7	同化(光合成・窒素同化)2 解説2								
	8	復習1(単元1～3) 定期テスト対策								
	9	復習2(単元4～6) 定期テスト対策								
	10	刺激と反応1 解説1、2								
	11	刺激と反応2 解説3～5								
	12	恒常性と調節 解説1、2								
	13	恒常性と調節 解説3～5								
	14	復習3(単元7) 定期テスト対策								
	15	復習4(単元8) 定期テスト対策								
	16	植物の反応								
	17	動物の行動								
	18	生態系								
	19	進化								
	20	力								
	21	滑車・てんびん・ばね・浮力								
	22	復習5(単元9～10) 定期テスト対策								
	23	復習6(単元1～2) 定期テスト対策								
	24	物体の運動								
	25	仕事・工学的エネルギー・熱量								
	26	電気								
	27	波動1 解説1～3								
	28	波動2 解説4、5								
	29	放射線								
	30	復習7(単元3～7) 定期テスト対策								
評価方法	(1)週テスト・丸暗記テストを毎週実施する。(2)定期試験を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	定期試験	◎	◎				80%			
	小テスト	○	○				20%			
履修上の注意										

科目名	自然科学講義基礎(化学)						
科目名(英)							
単位数	5単位	時間数	15時間/75時間	担当者	堀 津与志		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科 1年						
授業概要	公務員採用試験で出題される単元の内容(以下1～15にて提示)を理解できるようになる。また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで、本試験の傾向を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				自然科学分野の要点を理解し、初級程度公務員試験過去問題の解答することができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編著 : 絶対合格シリーズ 自然科学 テキスト編 ・オリジナル演習プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	物質の構造1 解説1～4					
	2	物質の構造2 解説5～6					
	3	モル・化学反応式1 解説1～2					
	4	モル・化学反応式2 解説3～4					
	5	酸と塩基1 解説1～2					
	6	酸と塩基2 解説3～4					
	7	酸化・還元1 解説1～4					
	8	酸化・還元2 解説5～7					
	9	復習1(単元1～4) 定期テスト対策					
	10	周期表1 解説1、解説2(1)(2)					
	11	周期表2 解説2(3)(4)、解説3					
	12	気体					
	13	気体の性質・溶解度					
	14	金属の性質					
	15	復習2(単元5～8) 定期テスト対策					
評価方法	(1)週テスト・丸暗記テストを毎週実施する。(2)定期試験を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	小テスト	○	○				20%
履修上の注意							

科目名	自然科学講義基礎(地学)						
科目名(英)							
単位数	5単位	時間数	15時間/75時間	担当者	山端 亜弥		
実施年度	2020年	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科 1年						
授業概要	公務員採用試験で出題される単元の内容(以下1～15にて提示)を理解できるようになる。また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで、本試験の傾向を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				自然科学分野の要点を理解し、初級程度公務員試験過去問題の解答することができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編著 : 絶対合格シリーズ 自然科学 テキスト編 ・オリジナル演習プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	地球の内部					
	2	地震1 解説1、2					
	3	地震2 解説3、4					
	4	岩石・火山1 解説1～3					
	5	岩石・火山2 解説4、5					
	6	大気構成					
	7	天気1 解説1～3					
	8	天気2 解説4、5					
	9	復習3(単元1～5) 定期テスト対策					
	10	地球の運動					
	11	太陽・月					
	12	太陽系の天体					
	13	恒星と宇宙					
	14	地球の歴史					
	15	復習4(単元6～10) 定期テスト対策					
評価方法	(1)週テスト・丸暗記テストを毎週実施する。(2)定期試験を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	小テスト	○	○				20%
履修上の注意							

科目名	自然科学講義基礎(数学)						
科目名(英)							
単位数	5単位	時間数	15時間/75時間	担当者	仲上 繁		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科 1年						
授業概要	公務員採用試験で出題されやすい単元を、演習プリントや麻生オリジナルテキストを使用して単元ごとに学習する。また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。中学・高校内容の復習から、公務員試験で特に狙われる出題形式に慣れるための演習を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					各単元の数学的公式を身につけ、例題や基本問題を解くことができる。	
		○				実践的な解法を身につけ、過去の公務員試験の問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	麻生キャリアサポート編著 絶対合格シリーズ 自然科学 テキスト編、補助プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	式の展開				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)	
	2	因数分解				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)	
	3	平方根(基本計算、有理化)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)	
	4	1次関数(1)(1次関数の式決定)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)	
	5	1次関数(2)(交点の座標、中点、平行と垂直)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)	
	6	2次方程式・2次不等式(1)(2次方程式・2次不等式の解き方)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)	
	7	2次方程式・2次不等式(2)(解と係数の関係、解の個数)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)	
	8	2次関数(1)(2次関数の頂点)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)	
	9	2次関数(2)(2次関数の平行移動)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)	
	10	2次関数(3)(2次関数と交点の個数)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)	
	11	2次関数(4)(2次関数の最大値・最小値)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)	
	12	三角比(1)(三角比の相互関係)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)	
	13	三角比(2)(単位円とその値)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)	
	14	三角比(3)(余弦定理、正弦定理、面積公式)				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)	
	15	円の方程式、不等式の表す領域				授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)	
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	演習試験	○	○				20%
履修上の注意							

科目名	文章理解講義基礎(和文)					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	30時間/60時間	担当者	田中 純一	
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科 1年生					
授業概要	文章読解を通して幅広い教養を身につけ、公務員試験の1次試験(筆記試験)での出題パターンを理解する。また、国語分野の知識や作文・要約の演習を通じて、豊かな表現力を養う。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	目標					
	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	
	○	○				本試験における標準レベルの問題(文章読解)について、正解に達することができる。
	○	○				本試験における標準レベルの問題(国語分野)について、正解に達することができる。
テキスト・教材 参考図書	公務員試験 過去問徹底分析“絶対”合格シリーズ 文章理解 テキスト編(2020年 麻生キャリアサポート編著)					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	文章理解(和文)試験概要講義			【事後】授業のおさらいをし、公務員試験の出題について理解すること。	
	2	「内容一致」基礎講義①:出題傾向・勉強の仕方			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	3	「内容一致」基礎講義②:解き方・攻略方法・演習			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	4	「文章整序」基礎講義①:出題傾向・勉強の仕方			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	5	「文章整序」基礎講義②:解き方・攻略方法・演習			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	6	国語①:四字熟語・漢字・ことわざ			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・プリントで復習すること。	
	7	復習①:「内容一致」「文章整序」「四字熟語・漢字・ことわざ」			【事後】授業で配布したプリントで復習をすること。	
	8	作文試験概要講義			【事後】授業のおさらいをし、作文試験の出題について理解すること。	
	9	作文演習①				
	10	「要旨」基礎講義①:出題傾向・勉強の仕方			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	11	「要旨」基礎講義②:解き方・攻略方法・演習			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	12	「空欄補充」基礎講義①:出題傾向・勉強の仕方			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	13	「空欄補充」基礎講義②:解き方・攻略方法・演習			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・ノートで復習すること。	
	14	要約演習①				
	15	復習②:「要旨」「空欄補充」「ことわざ」			【事後】授業で配布したプリントで復習をすること。	
	16	作文演習②				
	17	「内容一致」実践演習①			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・プリントで復習すること。	
	18	「要旨」実践演習①			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・プリントで復習すること。	
	19	「文章整序」実践演習①			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・プリントで復習すること。	
	20	「空欄補充」実践演習①			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・プリントで復習すること。	
	21	国語②:慣用句・漢字・ことわざ			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・プリントで復習すること。	
	22	復習③:「内容一致」「要旨」「文章整序」「空欄補充」			【事後】授業で配布したプリントで復習をすること。	
	23	「内容一致」実践演習②			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・プリントで復習すること。	
	24	「要旨」実践演習②			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・プリントで復習すること。	
	25	「文章整序」実践演習②			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・プリントで復習すること。	
	26	「空欄補充」実践演習②			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・プリントで復習すること。	
	27	要約演習②				
	28	文章理解(和文)総合演習①			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・プリントで復習すること。	
	29	文章理解(和文)総合演習②			【事後】授業で実施した該当範囲のテキスト・プリントで復習すること。	
	30	復習④:文章理解(和文)全般			【事後】授業で配布したプリントで復習をすること。	
評価方法	定期試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	◎	◎			
履修上の注意						

科目名	文章理解講義基礎(英語)						
科目名(英)	Contemporary Japanese Language & English Reading Comprehension(The basics of English Grammar & Reading Comprehension)						
単位数	4単位	時間数	30時間/60時間	担当者	中尾 亜希子/本多 利幸		
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科 1年						
授業概要	初級程度公務員採用試験(一次試験)の、文章理解(英文)および英語において、解答するために必要な基礎英文法を身に付け、文章読解力を身に付ける。また、英熟語、ことわざ対策として小テストを毎時間実施する。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	目標						
	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○	○			公務員採用一次試験問題(英語・英文法)に対して正答を導き出せるようになる。		
	○	○			公務員採用一次試験問題(長文読解)に対して正答を導き出せるようになる。		
テキスト・教材 参考図書	・公務員試験 過去問徹底分析 “絶対”合格シリーズ 文章理解 テキスト編 (株式会社 麻生キャリアサポート編著・発行、2020年) ・英熟語リスト(初回授業時配布予定) ・Weblio英単語、Weblio英語辞書(スマホ無料アプリ)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Section1 品詞・ガイダンス			【事前】テキストP.132・133を読む		
	2	導入P.104 演習・解説 ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
	3	Section2 文構造 ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】テキストP.134・135を読む 【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
	4	P.105・106 演習・解説 ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
	5	Section3 時制 ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】テキストP.136・137を読む 【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
	6	第1講義～第5講義の復習・調整 (前期中間試験に向けての復習)			これまでの内容を復習		
	7	Section4 助動詞 ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】テキストP.138・139を読む 【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
	8	P.107・108 演習・解説 ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
	9	Section5 受動態 ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】テキストP.140・141を読む 【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
	10	P.109・110 演習・解説 ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
	11	Section6 不定詞 ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】テキストP.142・143を読む 【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
	12	P.111・112 演習・解説 ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
	13	Section6 不定詞つづき ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】テキストP.144・145を読む 【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
	14	Section7 完了 ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】テキストP.146・147を読む 【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
	15	第7講義～第14講義の復習・調整 (前期末試験に向けての復習)			これまでの内容を復習		
	16	Section8 比較 ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】テキストP.148・149を読む 【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
	17	Section8 比較つづき ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】テキストP.150・151を読む 【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
	18	Section9 関係代名詞 ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】テキストP.152・153を読む 【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
	19	Section9 関係代名詞つづき ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】テキストP.154・155を読む 【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
	20	Section10 動名詞 ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】テキストP.156・157を読む 【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
	21	Section10 動名詞つづき Section11 知覚動詞・使役動詞 ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】テキストP.158・159を読む 【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
	22	第16講義～第21講義の復習・調整 (前期末試験に向けての復習)			これまでの内容を復習		
	23	Section12 仮定法 ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】テキストP.160・161を読む 【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
	24	P.113・114 演習・解説 ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
	25	P.115・116 演習・解説 ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
	26	P.117・118 演習・解説 ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
	27	P.119・120 演習・解説 ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
	28	P.121・122 演習・解説 ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
	29	P.123・124 演習・解説 ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記		
30	P.125・126 演習・解説 ・英熟語テスト・ことわざテスト			【事前】英熟語テスト・ことわざテストの範囲になっている部分を暗記			
評価方法	定期試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				
履修上の注意	【英熟語/ことわざテスト】 不合格者には追加課題を別途指示。						

科目名	判断推理講義基礎(判断論理A)						
科目名(英)							
単位数	4単位/7単位	時間数	60時間/105時間	担当者	江藤 弘明		
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科 1年						
授業概要	判断推理の論理分野において、公務員採用試験に出題される単元を中心に、麻生オリジナルテキストと授業内で配布されるプリントを使用し学習する。また、過去に出題された公務員試験問題や麻生オリジナルの類似問題を解くことで本試験の出題傾向を学ぶ。						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	目標						
	○	○	○	○	例題解説を通し、各単元の基本的解法を身につけている。		
	○	○	○	○	論理的思考を身に付け、図や表を用いた実践的な解法を習得し、公務員試験問題を解答できる。		
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編著：絶対合格シリーズ 判断推理 テキスト編 ・オリジナル演習プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	対応関係① 複数の事項の対応					
	2	対応関係② 3つ以上の事項					
	3	対応関係③ 3つ以上の事項					
	4	対応関係④ 場合わけ					
	5	対応関係⑤ 間接的な表現					
	6	対応関係⑥ 組み合わせ					
	7	対応関係⑦ 問題演習					
	8	論理① 対偶と三段論法					
	9	論理② 対偶と三段論法、否定					
	10	論理③ 左または右かつ					
	11	論理④ 穴埋め					
	12	論理⑤ ベン図					
	13	論理⑥ 問題演習					
	14	暗号① 仮名					
	15	暗号② 仮名、アルファベット					
	16	暗号③ アルファベット					
	17	暗号④ いろいろな暗号					
	18	暗号⑤ 問題演習					
	19	演習① (対応関係、論理、暗号)			定期試験対策も実施する。		
	20	演習② (対応関係、論理、暗号)			定期試験対策も実施する。		
	21	順序関係① 数直線と平均					
	22	順序関係② 数直線と平均					
	23	順序関係③ ブロック化					
	24	順序関係④ ブロック化					
	25	順序関係⑤ 順序の変動					
	26	順序関係⑥ 折り返し					
	27	順序関係⑦ 樹形図、わかっか					
	28	順序関係⑧ 時刻と時計のずれ					
	29	順序関係⑨ 問題演習					
	30	演習③ (順序関係)定期試験対策					
	31	演習④ (対応関係、論理、暗号、順序関係)			定期試験対策も実施する。		
	32	手順① 分銅					
	33	手順② ニセ金					
	34	手順③ 帽子、油わけ算					
	35	手順④ ハノイの塔、定員あり移動					
	36	手順⑤ 必勝法、作業工程					
	37	手順⑥ 並び替え、対戦推移					
	38	手順⑦ 問題演習					
	39	集合・人数① ベン図					
	40	集合・人数② 3つのベン図					
	41	集合・人数③ 3つのベン図					
	42	集合・人数④ キャロル表					
	43	集合・人数⑤ キャロル表					
	44	集合・人数⑥ 最大・最小					
	45	集合・人数⑦ 問題演習					
	46	演習⑤ (手順、集合・人数)			定期試験対策も実施する。		
	47	演習⑥ (手順、集合・人数)			定期試験対策も実施する。		
	48	数量推理① 鳩ノ巣原理、○×問題					
	49	数量推理② 方程式					
	50	数量推理③ 数づくり					
	51	数量推理④ 表					
	52	数量推理⑤ 魔方陣					
	53	数量推理⑥ 問題演習					
	54	暦・カレンダー① 暦のルール					
	55	暦・カレンダー② 過去・未来					
	56	演習⑦ (数量推理、暦・カレンダー)			定期試験対策も実施する。		
	57	演習⑧ (手順、集合・人数、数量推理、暦・カレンダー)			定期試験対策も実施する。		
	58	総合演習① 総復習演習					
	59	総合演習② 総復習演習					
60	総合演習③ 総復習演習						
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	確認テスト	○	○				20%
履修上の注意							

科目名	判断推理講義基礎(判断論理B)						
科目名(英)							
単位数	7単位	時間数	15時間/105時間	担当者	山端 亜弥		
実施年度	2020年	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	判断推理の論理分野において、公務員採用試験に出題される単元を中心に、麻生オリジナルテキストと授業内で配布されるプリントを使用し学習する。また、過去に出題された公務員試験問題や麻生オリジナルの類似問題を解くことで本試験の出題傾向を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					判断推理各単元の基本的解法を身に付けている。	
		○				題意を読み解き、図表を用いた解法を身に付け、公務員試験本試験問題を解答できる。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	試合・勝敗 リーグ表					
	2	試合・勝敗 上位必勝・3チームの1敗					
	3	試合・勝敗 トーナメント戦					
	4	試合・勝敗 問題演習					
	5	うそつき GW法					
	6	うそつき 矛盾・半分半分					
	7	復習1(試合勝敗・うそつき) 定期テスト対策					
	8	うそつき 犯人探し					
	9	うそつき 問題演習					
	10	位置・方位 位置1 マンション・住宅地					
	11	位置・方位 位置2 テーブル・円卓					
	12	位置・方位 位置3 写真撮影					
	13	位置・方位 方位					
	14	位置・方位 問題演習					
15	復習2(うそつき・位置方位) 定期テスト対策						
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	確認テスト	○	○				20%
履修上の注意							

科目名	判断推理講義基礎(判断図形)					
科目名(英)						
単位数	7単位	時間数	30時間/105時間	担当者	月足 勇	
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科 1年					
授業概要	判断推理の図形分野において、公務員採用試験出題される単元を、麻生オリジナルテキストと授業内で配布されるプリントを使用し各単元ごとに学習する。また、過去に出題された公務員試験問題や、麻生オリジナルの類似問題を解くことで、本試験の出題傾向を学ぶ。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	
	○				目標	
	○				例題解説を通して各単元の基本的解法を身につけ、定期試験や演習試験で合格点を取ることができる。	
					図形を平面及び立体的に把握し、実践的な解法を身につけ、公務員試験問題を解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編著：絶対合格シリーズ 判断推理 テキスト編 ・オリジナル演習プリント					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	折り紙①(逆順に書き込む)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。(1時間)	
	2	折り紙②(選択肢に書き込む)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。(1時間)	
	3	道順・位相①(最短経路、その他道順)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。(1時間)	
	4	道順・位相②(一筆書き)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。(1時間)	
	5	道順・位相③(点と線の関係、領域分割)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。(1時間)	
	6	展開図(1)①(代表的な図形)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。(1時間)	
	7	展開図(1)②(辺や面の位置関係)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。(1時間)	
	8	展開図(1)③(組立可能、展開図の切断)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。(1時間)	
	9	復習1・演習プリント配布			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)	
	10	展開図(2)サイコロ①(五面図、転がし)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。(1時間)	
	11	展開図(2)サイコロ②(目当て、積重ね)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。(1時間)	
	12	平面図形①(数え上げ)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。(1時間)	
	13	平面図形②(断片組立て)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。(1時間)	
	14	平面図形③(再構成、重ね合せ)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。(1時間)	
	15	復習2・演習プリント配布			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)	
	16	前期総復習・演習プリント配布			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)	
	17	軌跡①(直線上を転がす)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。(1時間)	
	18	軌跡②(円周上を転がす)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。(1時間)	
	19	軌跡③(その他)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。(1時間)	
	20	空間図形の分割①(着色、串刺し)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。(1時間)	
	21	空間図形の分割②(切断、接し面、組立)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。(1時間)	
	22	復習3・演習プリント配布			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)	
	23	多面体・切断・回転①(正多面体)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。(1時間)	
	24	多面体・切断・回転②(切断面)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。(1時間)	
	25	多面体・切断・回転③(回転体)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。(1時間)	
	26	多面体・切断・回転④(その他)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。(1時間)	
	27	空間図形の投影①(投影図)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。(1時間)	
	28	空間図形の投影②(積み木)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。(1時間)	
	29	復習4・演習プリント配布			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)	
	30	総復習・演習プリント配布			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)	
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	◎	◎			
	演習試験	○	○			
履修上の注意						

科目名		数的推理講義基礎(数的論理)					
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	60時間/90時間	担当者	高木 愛		
実施年度	2020年	実施時期	通年	担当者実務経験			
対象学科・学年		公務員総合科 1年					
授業概要		数的推理の論理分野において、公務員採用試験で出題されやすい単元を学習する。また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。					
授業形式		講義: ○	演習: △	実習: ○	実技: ○		
学習目標(到達目標)		目標 ○ 例題解説を通して各単元の基本的解法を身につけ、定期試験や演習試験で合格点を取ることができる。 ○ 論理的思考に基づいた実践的な解法を身につけ、公務員試験問題を解答できる。					
テキスト・教材参考図書		・麻生キャリアサポート編著：絶対合格シリーズ 数的推理・資料解釈 テキスト編 ・オリジナル演習プリント					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	数的論理基礎①			配布されるオリジナル演習プリントの問題を反復練習する。		
	2	数的論理基礎②			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	3	濃度 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	4	濃度 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	5	年齢 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	6	年齢 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	7	売買損益 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	8	売買損益 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	9	平均 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	10	平均 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	11	旅人算 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	12	旅人算 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	13	通過算 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	14	通過算 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	15	総合演習 1-14			配布されるオリジナル演習プリントの問題を反復練習する。		
	16	流水算 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	17	流水算 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	18	時計算 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	19	時計算 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	20	その他速さの問題 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	21	その他速さの問題 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	22	仕事算 基礎講義①			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	23	仕事算 基礎講義②			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	24	仕事算 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	25	ニュートン算 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	26	ニュートン算 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	27	一次方程式			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	28	連立方程式 問題演習①			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	29	連立方程式 問題演習②			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	30	総合演習 16-29			配布されるオリジナル演習プリントの問題を反復練習する。		
	31	不定方程式 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	32	不定方程式 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	33	不等式 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	34	不等式 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	35	比と割合 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	36	比と割合 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	37	記数法 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	38	記数法 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	39	約数・倍数 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	40	約数・倍数 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	41	整数 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	42	整数 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	43	魔法陣 講義、演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	44	覆面算・虫食い算 講義、演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	45	総合演習 31-44			配布されるオリジナル演習プリントの問題を反復練習する。		
	46	数列・規則 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	47	数列・規則 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	48	その他の数量問題 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	49	場合の数 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	50	場合の数 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	51	場合の数 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	52	場合の数 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	53	場合の数 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	54	確率 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	55	確率 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	56	確率 基礎講義			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	57	確率 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	58	確率 問題演習			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	59	総合演習46-58			配布されるオリジナル演習プリントの問題を反復練習する。		
60	総合演習 総復習			配布されるオリジナル演習プリントの問題を反復練習する。			
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
演習試験	○	○				20%	
履修上の注意							

科目名	数的推理講義基礎(数的図形)						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	30時間/90時間	担当者	月足 勇		
実施年度	2020年	実施時期	通年	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科 1年						
授業概要	数的推理の図形分野において、公務員採用試験で出題されやすい単元を、授業内で配布される演習プリントや麻生オリジナルテキストを使用して科目ごとで学習する。また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○				目標		
	○				例題解説を通して各単元の基本的解法を身につけ、定期試験や演習試験で合格点を取ることができる。		
					図形を平面及び立体的に把握し、実践的な解法を身につけ、公務員試験問題を解答できる。		
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート編著：絶対合格シリーズ 数的推理・資料解釈 テキスト編 ・オリジナル演習プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	三角形と多角形①(直線と角、内角・外角)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	2	三角形と多角形②(多角形、角の二等分線の定理)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	3	三角形と多角形③(平行線と線分の比、合同・相似)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	4	三角形と多角形④(直角三角形、三平方の定理)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	5	三角形と多角形⑤(チェバの定理・メネラウスの定理)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	6	三角形と多角形⑥(三角形の重心、その他)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	7	円①(円と直線)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	8	円②(円周角と中心角)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	9	円③(円と接線、接弦定理)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	10	円④(方べきの定理、円周と弧)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	11	復習1・演習プリント配布			配布されるオリジナル演習プリントの問題を反復練習する。(1時間)		
	12	面積①(三角形の面積公式)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	13	面積②(三角形の面積比)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	14	面積③(相似な三角形の面積比)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	15	面積④(三角形の種々の問題)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	16	面積⑤(円と扇形の面積)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	17	面積⑥(円と扇形の種々の問題)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	18	面積⑦(さまざまな図形の面積)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	19	面積⑧(その他)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	20	復習2・演習プリント配布			配布されるオリジナル演習プリントの問題を反復練習する。(1時間)		
	21	立体①(さまざまな図形の体積・表面積1)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	22	立体②(さまざまな図形の体積・表面積2)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	23	立体③(相似な図形の体積比)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	24	立体④(展開図と最短距離)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	25	立体⑤(立体の切断1)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	26	立体⑥(立体の切断2)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	27	立体⑦(回転体)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	28	立体⑧(その他)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。(1時間)		
	29	復習3・演習プリント配布			配布されるオリジナル演習プリントの問題を反復練習する。(1時間)		
	30	総復習・演習プリント配布			配布されるオリジナル演習プリントの問題を反復練習する。(1時間)		
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	演習試験	○	○				20%
履修上の注意							

科目名	適性知識演習基礎						
科目名(英)							
単位数	10単位	時間数	150時間	担当者	江藤弘明/武内淳/山端亜弥/田中純一 本多利幸/月足勇/高木愛		
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科 1年生						
授業概要	事務適性試験の反復練習を実施し、適性試験に慣れることと処理速度をあげること身につけさせ、点数向上を目指す。また、前週及び前日までに実施された授業について演習試験で確認を行うことで、授業内容の理解と修得状況の確認を行い知識の定着を図る。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				事務適性試験を反復して解くことで、処理速度をあげ、より多くの問題を解くことができる。	
	○	○				演習試験で理解度確認と不正解内容の定着を行い、同じ間違いを防ぐことができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・実務教育出版 適性試験ステップ25[基礎]編 および 実務教育出版 適性試験ステップ25[実戦]編 ・実務教育出版 適性試験No.1～No.100 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
		(1～10)事務適性試験、一般教養演習					
		(11～20)事務適性試験、一般教養演習					
		(21～30)事務適性試験、一般教養演習					
		(31～40)事務適性試験、一般教養演習					
		(41～50)事務適性試験、一般教養演習					
		(51～60)事務適性試験、一般教養演習					
		(61～70)事務適性試験、一般教養演習					
		(71～80)事務適性試験、一般教養演習					
		(81～90)事務適性試験、一般教養演習					
		(91～100)事務適性試験、一般教養演習					
		(101～110)事務適性試験、一般教養演習					
		(111～120)事務適性試験、一般教養演習					
		(121～130)事務適性試験、一般教養演習					
	(131～140)事務適性試験、一般教養演習						
	(141～150)事務適性試験、一般教養演習						
評価方法	適性演習試験、演習試験を実施し、正答率を点数換算し総合評価。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	適性演習試験	◎	◎				80%
	演習試験	○	○				20%
履修上の注意							

科目名	公務員リテラシー基礎(A)						
科目名(英)							
単位数	8単位	時間数	120時間/135時間	担当者	江藤弘明/武内淳/山端亜弥 田中純一/本多利幸/月足勇/高木愛		
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	公務員になるにあたって必要な知識と教養を身につけることを目的とし、志望する公務員について正しく理解することに加えて、効果的な受験までの活動と自己を知るための各種の活動を学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○	○	○		公務員になるにあたっての必要な知識・経験を積み、自身の考えを述べるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	実務教育出版 公務員模擬試験基礎編第1回～第4回						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	1. 模擬試験演習 40時間					
	2	(公務員試験過去問演習:32時間 実務教育出版模試:8時間)					
	3	2. 性格検査 3時間					
	4	(サイダス:1時間 YG検査:1時間 クレペリン:1時間)					
	5	3. 総合演習 19時間					
	6	(知識知能演習:15時間 テスト等:4時間)					
	7	4. 職種紹介ガイダンス 6時間					
	8	(国家一般職・裁判所職員 他国家専門職 市役所警察 他地方公務員)					
	9	5. その他ガイダンス 8時間					
	10	(作文書き方・集団討論・個別面接・集団面接・公務員受験)					
	11	7. 作文演習 8時間					
	12	8. 実践演習 16時間					
	13	(集団討論・体力測定・SPI対策・集団面接)					
	14	9. その他 12時間					
15	(グループワーク・学科ガイダンス)						
評価方法	レポート提出状況によって評価をつける。 R評価 (レポート文字数 2/3以上) D評価 (上記に該当しない場合)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート	○	○	○	◎		100%
履修上の注意							

科目名	GCB I (グローバル・シティズン・ベーシック I)						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	江藤弘明/武内淳/山端亜弥/田中純一 本多利幸/月足勇/高木愛		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科 1年生						
授業概要	マナーと協力(協働)について学ぶ全8講座を、50分授業×15回で実施する。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		感謝心を持つことにより他者依存から脱却する考えを持ち、それを述べられるようになる。	
	○	○		○		責任感と他者への思いやりをカタチにして表現(行動)できるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	GCB I テキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1講座 グローバル・シティズンを目指そう①					
	2	第1講座 グローバル・シティズンを目指そう②					
	3	第2講座 「協働」の態度を持った学生生活①					
	4	第2講座 「協働」の態度を持った学生生活②					
	5	第3講座 よりよい人間関係の構築に向けて モラル・マナーの重要性①					
	6	第3講座 よりよい人間関係の構築に向けて モラル・マナーの重要性②					
	7	第4講座 マナーの本質 I ①					
	8	第4講座 マナーの本質 I ②					
	9	第5講座 マナーの本質 II ①					
	10	第5講座 マナーの本質 II ②					
	11	第6講座 グローバル・シティズンとしての日常①					
	12	第6講座 グローバル・シティズンとしての日常②					
	13	第7講座 グローバル・シティズンとしての目標③					
	14	第7講座 グローバル・シティズンとしての目標④					
15	第8講座 グローバル・シティズンとしての「志」に向けて						
評価方法	レポート試験状況により評価をつける R評価(レポート試験文字数2/3以上) D評価(上記に満たない場合)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート試験	○	○		◎		100%
履修上の注意							

科目名	ビジネス実務基礎					
科目名(英)						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	相原 希久子/安藤 清子	
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科 1年生					
授業概要	パソコン操作とペン字を学習する。授業進行については、パソコンとペン字を交互に実施する。パソコン操作については、操作基本となるワードとエクセルの基本操作を身に付ける。また、ネットを活用する際に求められるコンプライアンスについても併せて身に付ける。ペン字については、基本的な文字の書き方から様々な対象に応じた書式を学習し、公務員試験に対応できる正しいペン字知識を身に付ける。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	
	○	○	○	○	基礎的なPC操作(ワード、エクセル、パワーポイント)ができるようになる	
	○	○	○	○	美しい字を書くコツを学ぶ	
テキスト・教材 参考図書	30時間でマスター Word&Excel2016 (Windows10)					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	パソコン1:メールの設定				
	2	ペン字 1:読みやすい文字を書くコツ①(文字を書くための基本)				
	3	パソコン2:ワード(1)入力の基礎・情報倫理(1)				
	4	ペン字 2:読みやすい文字を書くコツ②(自分の名前を確認)				
	5	パソコン3:ワード(2)社内文章①・情報倫理(2)				
	6	ペン字 3:読みやすい文字を書くコツ③(文字の基本を学ぶ①漢字)				
	7	パソコン4:ワード(3)社内文章②・情報倫理(3)				
	8	ペン字 4:読みやすい文字を書くコツ④(文字の基本を学ぶ②漢字)				
	9	パソコン5:ワード(4)社内文章③・情報倫理(4)				
	10	ペン字 5:読みやすい文字を書くコツ⑤(文字の基本を学ぶ③片仮名)				
	11	パソコン6:ワード(5)社内文章④・情報倫理5				
	12	ペン字 6:読みやすい文字を書くコツ⑥(文字の基本を学ぶ④平仮名)				
	13	パソコン7:ワード(6)社内文章⑤				
	14	ペン字 7:読みやすい文字を書くコツ⑦(文字の基本を学ぶ⑤横書きの書式)				
	15	パソコン8:ワード(7)社内文章⑥				
	16	ペン字 8:読みやすい文字を書くコツ⑧(文字の基本を学ぶ⑥縦書きの書式)				
	17	パソコン9:ワード(8)まとめ				
	18	ペン字 9:実用書を学ぶ①(はがきの表書き)				
	19	パソコン10:エクセル(1)表作成				
	20	ペン字 10:実用書を学ぶ②(長形封筒の書き方～レイアウトを学ぶ)				
	21	パソコン11:エクセル(2)表作成②				
	22	ペン字 11:実用書を学ぶ③(角形封筒の書き方～レイアウトを学ぶ)				
	23	パソコン12:エクセル(3)グラフ作成				
	24	ペン字 12:面接カードの書き方①(面接カードの名前の練習)				
	25	パソコン13:エクセル(4)関数①				
	26	ペン字 13:面接カードの書き方②(横書きの書式とバランス)				
	27	パソコン14:エクセル(5)関数②				
	28	ペン字 14:面接カードの書き方③(レイアウトの中での書き取り練習)				
	29	パソコン15:エクセル(6)まとめ				
	30	ペン字 15:面接カードの書き方④(配字と文字のバランス～書き取り仕上げ)				
評価方法	演習課題の状況により評価をつける R評価(レポート課題提出 2/3以上)					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	レポート課題提出	◎	○	◎		
						評価割合
						100%
履修上の注意						